番号１４　富山北部高等学校

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
商　業 ・ ビジネス基礎	情報デザイン科 ・ １　年	2	ビジネス基礎 （実教出版）	全商ビジネス計算実務検定模擬試験 問題集3級・2級 ビジネス基礎問題集

科目の概要と目標	
	･商業科に入学した意義をしると同時に私たちの経済生活のしくみについて学ぶ。 ･全商ビジネス計算実務検定3級、2級の合格に向け知識･技能を高める。 ･会計活用能力を高め、製品を作るために必要な費用の計算方法について学ぶ。 ･ビジネスを展開する力の向上を目指し、自ら学び、ビジネスの発展に主体的に取り組む力を身につける。

月	単　元	学　習　内　容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ・ 5	第1章　商業の学習とビジネス 第6章　取引とビジネス計算	・社会や産業全体の課題とその解決のために商号が果たしている役割、グローバル化する経済社会で職業人として求められる倫理観を育むことについて学ぶ。 ・商品に関する代価の計算、割合、度量衡・外国貨幣の換算、利益率、利息の計算などについて学ぶ。	・ビジネスが身近なこととして理解している。 ・電卓を使ってビジネス計算をする技術を身についている。	・商業が果たしている役割、働くことの意義や役割を考察し表現できる。 ・ビジネス計算に関する知識と技術を身につけ表現することができる。	・将来の職業選択に不可欠な自己理解と職業の理解の方法の探求に主体的に取り組もうとしている。 ・ビジネス計算に関心を持ちその計算方法を積極的に学ぼうとしている。
6 ・ 7	第2章　ビジネスに対する心構え	・ビジネスを主体的合理的に行う上での信頼関係を構築する重要性、円滑に行う上での言葉遣いを基本とするコミュニケーションの意義について学ぶ。 ・企業活動において円滑にコミュニケーションを図るうえでの情報の重要性、企業活動に必要な情報の調査を入手することの重要性について学ぶ。	・信頼関係を構築するための倫理観や法令順守などの共通認識が理解されている。 ・基礎的なビジネスマナーが身についている。 ・情報収集の意義、他者との情報交換の重要性、効果的な入手方法を理解している。	・ビジネスマナーを身につける意義を考え、望ましい心構えを自ら判断し、表現することができる。 ・情報を入手することを重要性を理解し、効率的に入手する方法を考案している。	・ビジネスマナーの習得に主体的に取り組もうとしている。 ・適切なコミュニケーションをとることで良好な人間関係を築こうとしている。 ・目的にあった情報の入手方法の探求など主体的にとり組もうとしている。 ・情報を入手することを重要性を理解し、効率的に入手する方法を考案している。
9 ・ 10	第3章　経済と流通	・流通の役割について、生活水準の向上や生産の高度化などによる生産と消費の隔たりの拡大と関連づけて扱う。 ・売買業の業態の変化ついて扱う。 ・情報技術の進歩に伴う流通の効率化と最適化について具体的な事例で学ぶ。	・経済の基本的な仕組み、需要と供給、売買取引等基礎的な知識を理解している。 ・流通の意義と役割ついて理解している。 ・流通を支えるさまざまなビジネス活動に関する知識を身につけ、理解している。	・需要と供給・売買取引について身近な例を挙げながら考え、経済についての思考を深めていく。 ・生産と消費の隔たりをどのように埋めるかを思考していく。 ・様々なビジネスを活動について思考を深め、具体例などを用いて表現することができる。	・経済の基礎的・基本的なしくみ関心を持ち、需要と供給・売買取引について用語や種類などを積極的にしたベルなど主体的に学習に取り組んでイス。 ・流通のいぎや機能について関心を持ち主体的に取り組もうとしている。 ・様々なビジネスを活動について調べそれぞれの分類・役割・内容について調べ、主体的に取り組もうとしている。
11 ・ 12	第6章　取引とビジネス計算 第4章　企業活動	・売買契約について学ぶ。 ・代金決済の手段としくみについて学ぶ。 ・電子商取引について学ぶ。 ・企業の形態と経営組織の種類と特徴、意思決定の流れ仕事の進め方について学ぶ。 ・マーケティングの基本について学ぶ。 ・資金の調達、会計処理、税について学ぶ。	・売買契約の履行と締結流れを理解している。 ・様々な支払い手段決済方法について理解し、能率的な活用方法についても理解している。 ・企業に関する知識を身につけ、理解している。 ・マーケティング基礎的基本的知識を身につける。	・売買契約の履行と締結流れについて具体的に説明できる。 ・様々な支払い手段決済方法について理解し、能率的な活用方法についても説明できる。 ・企業に関する知識によって、どのような起業であるか説明できる。 ・マーケティングについても説明できる。	・売買契約の履行と締結流れについて主体的に取り組もうとしている。 ・様々な支払い手段決済方法について理解し、それぞれの特徴を積極的に調べ主体的にとり組もうとしている。 ・企業に種類経営理念、組織ついて関心をもち、主体的に調べるなど取り組もうとしている。 ・マーケティングについても関心を持ち、主体的に取り組んでいる。
1 ・ 2 ・ 3	第5章　身近な地域のビジネス	・身近な地域の抱える課題についえ調査し考察する。	・身近な地域のビジネスにおいて必要とされる姿勢と課題への取り組み方を理解している。	・身近な地域のビジネスに関する具体的な事例や課題を発見し、その対応策を考案している。	・身近な地域のビジネスに関する具体的な事例や課題について調べるなど主体的に学習に取り組んでいる。

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教　科　書	使　用　教　材
商　業・情報処理	情報デザイン科・１年	2	最新情報処理　Advanced Computing（実教出版）	全商情報処理検定模擬試験問題集２級（実教出版） 全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集２、３級(実教出版)
科目の概要と目標	・情報を正しく活用するための基本的な知識を身につける。 ・コンピュータに関する基礎的な知識について理解する。 ・コンピュータの基本的な操作方法を習得する。 ・表計算ソフト・グラフ・データベース作成の必要性と作成方法について理解する。 ・ビジネス活動におけるコミュニケーション手段としてのビジネス文書作成方法を習得する。 ・株式会社設立に向けてプレゼンテーションの基礎について理解する。			

月	単　元	学　習　内　容	評価方法		
			知識 技能	思考・判断 ・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月～7月	１章　企業活動と情報処理 ２章　コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	情報の意義と役割を理解し、そのために必要な情報モラルの考え方や態度について理解し、守るべき法規の必要性等を理解する。 コンピュータの基本的な機能と構成を理解し，ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について理解するとともに，それを活用する基本的な技術を身に付ける。	コンピュータや情報通信ネットワークを活用して，ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し，分析した結果を表，グラフ，画像などを用いて適切に表現する知識と技術を身につけようとしている。また、個人情報や知的財産の保護に留意して，情報を主体的に活用しようとする態度が備わっている。	ビジネスにおいて情報を効果的に活用するための情報処理の方法について考えようとしている。	情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
9月～12月	３章　情報の集計と分析 ４章　ビジネス文書の作成	・ソフトウェアの基本的な操作を習得する。 ・関数の利用方法を習得する。 ・データベースの特性とその活用方法を理解する。 ・ワープロソフトウェアの技術を習得する。	ビジネスに関する問題の発見と解決について，基礎的な技法を理解し，関連する技術を身に付ける。文書作成能力を身につける。	ビジネスに関する問題の発見と解決について，情報の提供に対する要求を分析し，科学的根拠に基づいて，表現し，評価・改善できる。	ビジネスに関する問題の発見と解決について，自ら学び，適切な情報の提供と効果的な活用について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
1月～3月	５章　プレゼンテーション	・プレゼンテーションを基礎について理解する。 ・プレゼンテーションを行う技法を習得する。	プレゼンテーション活動の意義や役割を理解し、内容構成など，プレゼンテーションの準備から評価改善に至るまでの一連の流れや基礎的な技法を身に付ける。	プレゼンテーション活動の意義や役割を思考し、正しい判断で表現することができる。	プレゼンテーション活動に主体的に取り組むことができる。

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
商　業 ・ 課題研究	情報デザイン科 ・３年	5	なし	
科目の概要と目標	①卒業制作のための資料の収集・調査・分析を通して、社会の状況に広く目を向け、情報を取捨選択して処理する力を身につける。 ②プレゼンテーションにおける総合的な力を高めるとともに、コミュニケーション能力を高める。 ③様々なメディアにおけるデザイン技術や視覚伝達方法について理解し、制作する能力を身につける。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	卒業制作	○卒業制作の企画、立案 ○企画のプレゼンテーション ○企画の検討 ○資料の収集・整理 ○調査・分析 ○マーケティングリサーチ	卒業制作が３年間の学習の総まとめであることを理解し、高校生らしい発想や展開ができるよう基礎的な事項を理解して、制作する事ができる。 グループでの作業になるため、コミュニケーションを密接に取りながら取り組むことができる。 主題を明確にして制作に取り組むことができる。
2	卒業制作	○調査結果の分析・解釈 ○コンセプトのプレゼンテーション ○デザイン展開・制作 ○校正・修正 ○ディスプレイの検討 ○最終プレゼンテーションの準備	コンセプト設定が、グループ内の共通理解を十分に図って決定することができる。 展開した発想を、具体的な内容として整理し収束することができる。 卒業制作がどの分野においても目的を促進するための視覚的な効果をねらった活動であることを理解し、コンセプトを反映することができる。 情報を整理し、見やすくわかりやすいディスプレイができる。 プレゼンテーションでの評価を基に改善点を確認することができる。
3	北高展での展示発表 最終プレゼンテーション ポートフォリオ	○展示発表 ○最終プレゼンテーション ○ポートフォリオの作成	テーマ・コンセプトを伝えるプレゼンテーションであることを理解し、姿勢・動作・話し方など、相手に伝えるための技術を身に付けることができる。 三年間の制作物を、見やすく美しく確認できるようにレイアウトする。